

# 読者ふれあいページ

「こちら虹」は楽しかったこと、  
ことを教えてください。「お助け倶  
アイデアやお知恵をお寄せください。  
電話番号を明記ください。電話は土

## 童謡からひもづく「帰る」と

出雲市斐川町・仁照寺住職

江角 弘道

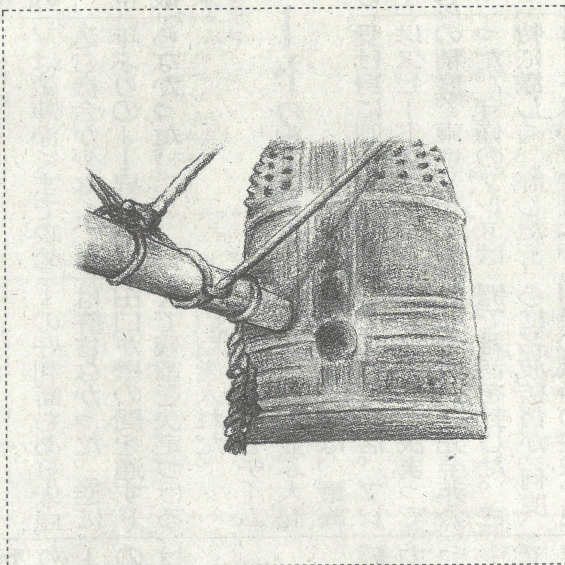
夕暮れどき、子どもが家  
に帰る様子をうたった童謡  
「夕焼小焼」があります。  
夕焼け小焼けで 日が暮  
れて、山のお寺の 鐘が鳴  
る お手々つないで 皆か  
えろう 鳥といっしょに  
帰りましょう  
子どもが帰った あとか  
らは 丸い大きな お月様  
小鳥が夢を 見る頃は  
空にはキラキラ 金の星  
子どもにとっては、単に  
家に「帰ること」の意味で  
すが、年を重ねて再度その  
童謡を歌ってみると、「帰  
ること」の他に「死」の意  
味が含まれていると思える  
ようになりました。

# 混迷・生きる

教えの庭から

き所におさまる。よりした  
がう。「帰趨・帰着・帰服」  
③死ぬ。④とつぐ。「帰嫁」  
とあります。

私にとって、夕焼け空に  
は、西方浄土のイメージが  
あります。命あるもの、全  
が、その戒名の上に、「帰



ての帰る「いのちの故郷」  
があり、その故郷へ帰ろう。  
それが、「お手々つないで  
に帰りましょう」となりま  
す。大人たちが、この歌を

味です。その「元」、「空正  
とは、「生まれ故郷」、「い  
のちのふるさと」つまり「い  
のちの根源」に帰ること、  
「浄土」に帰ることです。  
仏教では、このことをよ  
りくわしく「成住壞空」と  
言います。

「成」とは、生まれてく  
ること、「住」は、この世  
に住んで生活すること(成  
長し、結婚など)、「壞」  
は、私たちの体がだんだん  
壊れてゆくこと(老衰す  
る)、「空」は、死んで空  
に帰ることです。その帰る  
ところは生まれ故郷・浄土  
であるわけです。

私たちは、太陽や空気や  
水や植物や動物や社会の人  
々や身の回りの道具や家族  
や友人や私以外のすべての  
物や人の「おかげ」で生か  
されています。そのような  
生かされる大本をまとめて  
インド語で、アミタ【量り  
知れないもの】と言います。  
漢字で「阿弥陀」と書かれ

ます。それは、「いのちの  
根源」です。だから、人間  
のいのちの故郷は、「阿弥  
陀さま」です。  
この童謡では、「かえろ  
う」、「帰りましょう」と  
呼び掛けていますが、呼び  
掛ける人は、子どもにとっ  
てはおもに母親となります  
が、大人にとっては、「阿  
弥陀さま」であると考えら  
れます。

④の「とつぐ」。「帰嫁」  
という意味について考える  
と、阿弥陀さまのおかげで、  
生かされていて、その阿弥  
陀さまの元へ帰るのですか  
ら、阿弥陀さまと一心同体  
となります。だから、浄土  
に帰ることは、阿弥陀さま  
のところへ嫁ぐことともと  
れるように思えます。

多くの人に愛されている  
童謡には、その意味を掘り  
下げて考えると、学ばせて  
いただくことが多くありま  
す。